

## Digisparkにプログラムを書き込む

投稿者: マーチン 2020年1月25日

カテゴリ: [障害者全般::Digispark](#)

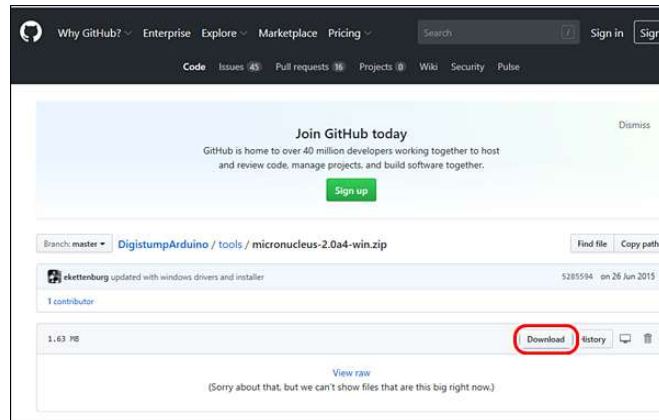
Digispark(または互換品) にプログラムを書き込むには、Android の開発環境 (Arduino IDE) を整え、ソースプログラムをコンパイルする必要があります。でも、開発者がバイナリファイルを提供してくれれば、初心者でも少ない手順でプログラムを書き込むことができます。

(2020.1.25) サンプルプログラムを ModelCheck に変更しました。

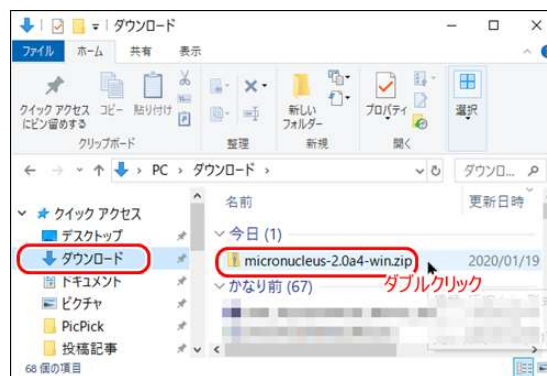
### ●ドライバーのインストール

Windows PCにドライバーをインストールします。

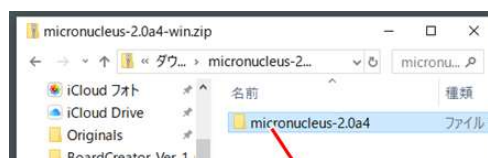
(1) [\[GitHub\]DigistumpArduino](#) から、micronucleus-\*\*\*\*-win.zip をクリックし、[Download] をクリックする。



(2) ダウンロードフォルダのZIPファイルをダブルクリックする。

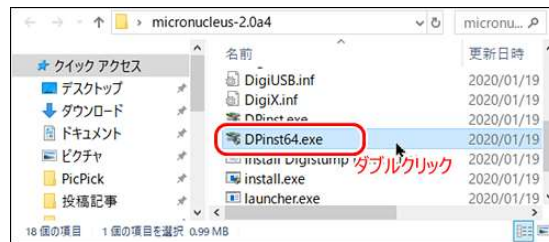


(3) フォルダをデスクトップにドラッグ & ドロップすると、コピーされる。





(4)フォルダ内の、[DPinst64.exe] (32ビット環境なら「DPinst.exe」) を実行する。

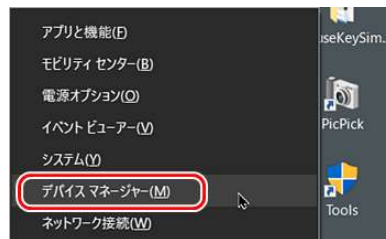


(5)“デバイスドライバーのインストールウィザードの開始” ⇒ [次へ]

“このデバイスソフトウェアをインストールしますか” ⇒ [インストール]

“デバイスドライバーのインストールウィザードの完了” ⇒ [完了]

(6)[Windows]キーを押しながら[X]キーを押して、表示されるメニューから、[デバイスマネージャー]を選択する。



(7)Digispark をUSBケーブルで接続すると、認識されて“ピッポピッ”と鳴る。[libusb-win32 Usb Devices] [Digispark Bootloader] があることを確認する。



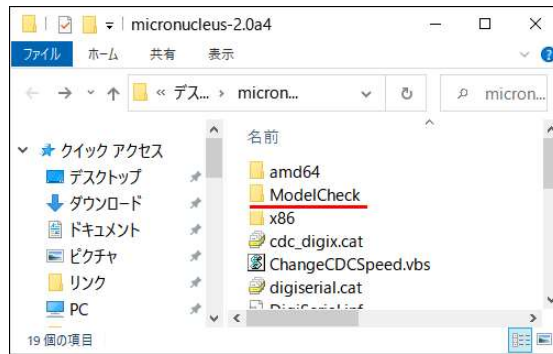
(8)数秒で見えなくなりますが、これで正常です。

## ●プログラムの書き込み

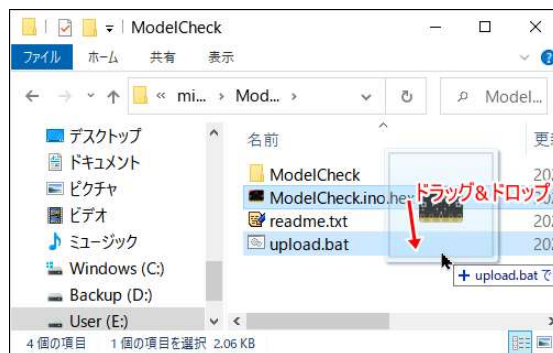
(1)Digispark は、PCから抜いておく。

(2)LED点滅プログラム、[ModelCheck.zip](#) をダウンロードして展開する。

(3)展開したフォルダ[ ModelCheck] を、[micronucleus-\*\*\*\*]の中に移動する。



(4) ModelCheck.ino.hex を upload.bat の上に、ドラック&ドロップする。



※batファイルが提供されていない場合

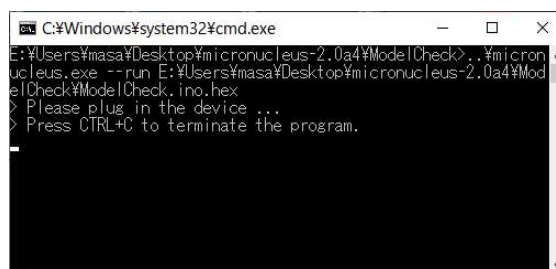
[Win]+[X] で“Windows PowerShell”または“コマンドプロンプト”を起動し、カレントディレクトリを [ModelCheck] に移動して、

```
..%micronucleus.exe --run ModelCheck.ino.hex
```

を実行してください。



(5)“Please plug in the device ...”と表示されたら、Digispark をUSBケーブルで繋ぐ。



(6)“Micronucleus done.”と表示されたら、書き込み終了。



```

erasing: 60% complete
erasing: 65% complete
> Starting to upload ...
writing: 70% complete
writing: 75% complete
writing: 80% complete
> Starting the user app ...
running: 100% complete
>> Micronucleus done. Thank you!

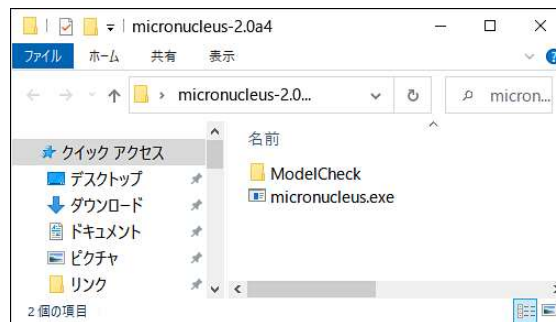
E:\Users\masa\Desktop\micronucleus-2.0a4\Mode\Check>pause
続行するには何かキーを押してください . . .

```

(7)基板上のLEDが、1回点滅を繰り返したら Model A、3回点滅を繰り返したら Model B です。

## ●書き込むだけなら・・・

ドライバーをインストールし終えて、プログラを書き込むことが目的なら、必要なファイルは「micronucleus.exe」だけです。それ以外のファイルは、全部削除してしまっても構いません。



## ●(おまけ)hexファイルの出力場所

「C:\Users\%(ユーザー名)\AppData\Local\Temp」の中に、フォルダ「arduino\_build\_XXXXXX」が作成され、その中にhexファイルが出力されます。Arduino IDEを閉じると、フォルダごと削除されます。コンパイル実行後に上記フォルダを開いて、hexファイルを他の場所に移動します。

## ◆連載

- [【まほろば】手の中に収まるスイッチインターフェース](#)
- [【まほろば】手の中に収まるスイッチインターフェース\(続\)](#)
- [【まほろば】Digisparkにプログラムを書き込む](#)
- [【まほろば】Digispark 開発環境のチェック](#)

## ◆関連サイト

- [ATtiny85\(Digispark:超小型Arduino?\)をちょっと噛じる](#)
- [Digisparkオルゴール](#)